





地区振興会会報 いっちょうだ

平成27年2月15日発行
一町田地区振興会
河浦町河浦 5223
(一町田地区コミュニティセンター内)
TEL76-0380
有線 6820

河浦小児童 雪の浦河町へ

明治時代、立原地区から移住した人々が定住したのが北海道の浦河町。平成8年には友好交流締結をし、交流を重ねてきた町です。

昨年末、この浦河町と人的交流をするため、河浦小児童十名と訪問しました。数年に一度といわれる寒波にみまわれ、訪問が危ぶまれましたが、滞在した3日間は好天に恵まれました。

日中の気温が氷点下十度のなか、美しい青空と穏やかな日差しに恵まれました。一面の銀世界と、さらさらとした粉雪に、子どもたちは感動している様子でした。真っ白な雪原での乗馬や天然の屋外リンクでのスケート、浦河東部小児童との交流会、立原から移住された方々が建立された杵臼神社訪問など、行く先々で浦河の人々の温かい歓迎を受けながら貴重な体験を重ねることができました。

この訪問が、気候風土の違いを体験した子どもたちが郷土を顧みる機会となり、大切な財産となること、また、今後の浦河町との交流がより広がっていくよう願いたいと思います。

（文＝同行された河浦支所　山下課長）











（事務局より）　今回の会報は、北海道浦河町との交流を特集しました。これからも、いろいろな交流が続いていくと良いですね。3月28日の『さくらまつり』でも、浦河町の特産品を販売する予定です。みなさまのご来場をお待ちしております。なお、さくらまつりウォーキングの申込用紙は、後日各世帯に配布します。ぜひ、ご参加ください。申込お待ちしています。



余談ですが、
北海道日本ハムファイターズでは、選手が各地域と交流を図りながら、まちづくり・まちおこしに寄与していく「北海道179市町村応援大使」が2013年より発足しています。2015年、浦河町の大使に決定したのは
大谷翔平選手白村明弘選手
2人とも期待の投手です。